

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市安全都市推進委員会補助金	開始 年度	昭和39年度
----------------	-----------------	----------	--------

団体名	函館市安全都市推進委員会
-----	--------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	・産業安全、交通安全、衛生安全、消防安全、防犯の5部門の部会で構成されており、関係施策および市民参加による諸活動を推進しているほか、安全活動実践功労表彰を行っているが、これらの事業に要する経費について、補助金を支出している。
目 的	(目 的) ・「函館市安全都市宣言」を踏まえ、市民生活の安全意識の向上と安全性を確保するため、行政機関と市民関係団体との有機的な連携を保ち、関係施策の推進を図るとともに、市民参加の運動を効果的に推進するため。
・ 効 果	(効 果) ・各分野において関係施策ならびに市民参加の運動を積極的に推進し、市民生活の安全意識の普及徹底と安全が図られている。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	21	1,000				108	0	1,108
	22	1,000				72	0	1,072
	23	1,000				36	0	1,036
	24	900				25	0	925
	25	900				27	1	928
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		14	1,023				1,037
	22		7	1,029				1,036
	23		8	1,004				1,012
	24		10	889				899
	25		18	910				928

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市安全都市推進委員会補助金
----------------	-----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	・「函館市安全都市宣言」を踏まえ、市民生活の安全意識の向上と安全性を確保するため、行政機関と市民関係団体との有機的な連携を保ち、関係施策の推進を図るとともに、市民参加の運動を効果的に推進しており、公益性は極めて高い。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	・産業安全、交通安全、衛生安全、消防安全、防犯の5部門の部会が設けられ、関係施策および市民参加による諸活動を推進している。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☐	☒	・事業費はすべて補助金により賄われている。 ・交通安全課が事務局を担っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	・市民生活の安全意識の向上と安全性を確保するため、関係施策および市民参加による効果的な活動および行事を積極的に推進するうえで効果があり、活動のための補助金が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☒	・毎年度、定期的な事業を行っているため、ほぼ例年同様の積算内訳となっているが、今後も経費節減に努めるよう指導する。
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	・運営費補助であり、会から提出される収支予算書等における積算内訳を精査のうえ、補助金額を決定している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	・事業費はすべて補助金により賄われている。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名
(交付金名)

函館市安全都市推進委員会補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

・各分野において関係施策ならびに市民参加の運動を積極的に推進し、市民生活の安全意識の普及徹底と安全を図る。

(達成状況)

・それぞれの部会が関係施策および市民参加による下記の諸活動を実施しており、各分野において市民生活の安全意識の向上と安全性の確保が図られた。

産業安全：7月全国安全週間・函館地区産業安全衛生大会，10月全国労働衛生週間

交通安全：各期（春・夏・秋・冬）の交通安全運動

衛生安全：7月愛の血液助け合い運動，8月食品衛生月間

消防安全：春・秋（4・10月）の火災予防運動，12月歳末火災特別警戒

防 犯：5月春の地域安全運動，7月社会を明るくする運動，10月全国地域安全運動

・特に，安全思想の普及啓発活動に功績があり，他の模範となる団体，個人に対して安全活動実践功労表彰を実施している。

※継続事業は，直近の実績 新規事業は，効果のみ記載してください。

(評 価)

十分効果をあげている

☐

一定の効果をあげている

☒

効果が疑問である

☐

その他

☐

(理 由)

・市民生活の安全意識の向上と安全性の確保に関する広報・啓発活動を主な事業としており，直接的な事業効果を数値で測ることは困難である。

・安全活動実践功労表彰については，各界から高い評価を得ている。

○今後の方向性

☐

現行のまま補助を継続

☐

見直したうえで補助を継続

☒

廃止

☐

その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

・各部会活動の見直しにより補助金を廃止し，事業を縮小したうえで市費で継続する。

(廃止の時期)

・平成25年度

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

平成25年度

☒

終期到来により廃止

☐

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

平成

年度